



さあ、答え合わせをしよう！

第 63 週目 行ってみよう～山口県(やまぐちけん)からの出題

※ココを見てね!▶▶▶行ってみよう～山口県(やまぐちけん)

1. 山口県の土井ヶ浜遺跡からは、300を超える あるものが出土しています。それは何かな？

正解:③人間の骨(ほね)

山口県(やまぐちけん)は、北部九州(ほくぶきゅうしゅう)と同じように、早い段階(だんかい)から中国大陆(ちゅうごくたいりく)や朝鮮半島(ちょうせんはんとう)の影響(えいきょう)を受けた地域(ちいき)です。弥生時代(やよいじだい)の埋葬跡(まいそうあと)である土井ヶ浜遺跡(どいがはまいせき)では、緩(ゆる)やかな砂丘(さきゅう)の上から、なんと300体もの人骨(じんこつ)が出土(しゅつど)しました。その後の研究(けんきゅう)によって、人骨(じんこつ)は、それまでの縄文人(じょうもんじん)とはちがうことがわかりました。また、さらには、土井ヶ浜周辺(しゅうへん)では採(と)ることのできない貝で作られた装飾品(そうしょくひん)を身(み)につけていたことがわかりました。正解は、③人間の骨(ほね)。県の特徴(とくちょう)を読めば、すぐにわかりましたね。

2. 山口県に多く見られる「高地性集落(こうちせいしゅうらく)」とは、どんな特徴をもつ遺跡ですか？

正解:③戦(たたか)いに備(そな)えている

まず、弥生時代(やよいじだい)のムラ=集落(しゅうらく)は、大きく2つに分けられますが、いずれも敵(てき)の侵入(しんにゅう)を防(ふせ)ぐ防衛機能(ぼうえいきのう)をもつと考えられています。一つは、「環濠集落(かngoしゅうらく)」といって、集落(しゅうらく)を囲(かこ)うように掘(ほり)や土塁(どるい)をめぐるせ、平野(へい)の水田(すいでん)の近くに多くみられます。もう一つが「高地性集落(こうちせいしゅうらく)」で、山の頂(いただき)や斜面(しゃめん)につくられました。生活の不便(ふべん)さや稲作(いなさく)ができないことから「逃げ城(にげじろ)」、つまり攻撃(こうげき)を受けたときに人々が逃(に)げこむ防衛施設(ぼうえいしせつ)として使われたものだという説(せつ)もあります。いずれにしても、弥生時代(やよいじだい)には敵(てき)から身を守る対策(たいさく)をこうじていたことがわかります。正解は、③戦(たたか)いに備(そな)えている、でした。

3. 王屋敷遺跡からは、弥生時代中ごろの銅剣(どうけん)が出土しました。みつかったのは、いつ？

正解:③明治時代(めいじじだい)

「有柄細形銅剣(ゆうへいほそがたどうけん)」は国の重要文化財(じゅうようぶんかざい)として、「お宝ベスト5」の3つ目に写真付きで紹介(しょうかい)されています。つくられたのは弥生時代(やよいじだい)ですが、のちのち、くずれた山の土の中から偶然(ぐうぜん)みつかりました。正解は、③明治時代(めいじじだい)でした。

4. 明地遺跡から出土したのは、笑顔の土製品でした。その意味(いみ)は何だと考えられていますか？

正解:①魔除け(まよけ)

「お宝ベスト5」5つ目に紹介(しょうかい)されています。弥生時代(やよいじだい)中期以降(ちゅうきいこう)、住居跡(じゅうきょあと)から動物や人をモチーフにした土製品(どせいひん)がみつかります。これは何かのマツリの道具で、「笑顔(えがお)」には魔除け(まよけ)の意味があると考えられています。正解は①。こうしたモノは、弥生人(やよいじん)の精神文化(せいしんぶんか)をしめす大切な資料(しりょう)です。

5. 沖ノ山遺跡から出土した甕(かめ)の中から、外国のお金がみつかりました。いったい どの国のもの？

正解:①中国(ちゅうごく)

「お宝ベスト5」の4つ目、正解は①中国(ちゅうごく)。弥生時代(やよいじだい)の甕(かめ)の中で見つかったお金は、全国にも例(れい)はありません。ちなみに、日本とインドとの付き合いは仏教(ぶつきょう)が伝わった6世紀から。アメリカとは、ペリーの黒船来航(くろふねらいこう)がはじまりなので、19世紀になってからの話です。